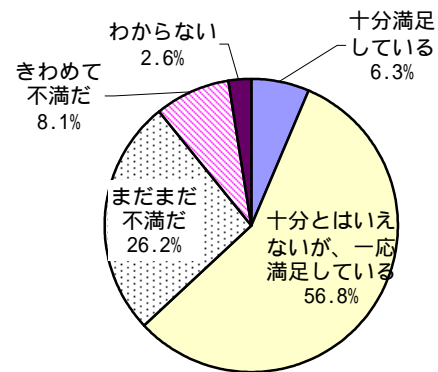


## 問6 暮らしに対する満足度

あなたは、現在のお宅の暮らしに満足していますか。それとも不満ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 十分満足している	6.3
2 十分とはいえないが、一応満足している	56.8
3 まだまだ不満だ	26.2
4 きわめて不満だ	8.1
5 わからない	2.6

現在の暮らしに満足しているか、それとも不満かを聞いたところ、「満足」と答えた人の割合が63.1%（「十分満足している」（6.3%）、「十分とはいえないが、一応満足している」（56.8%））であったのに対し、「不満」は34.3%（「まだまだ不満だ」（26.2%）、「きわめて不満だ」（8.1%））で、現在の暮らしに満足していると感じている人の方が多くなっている。



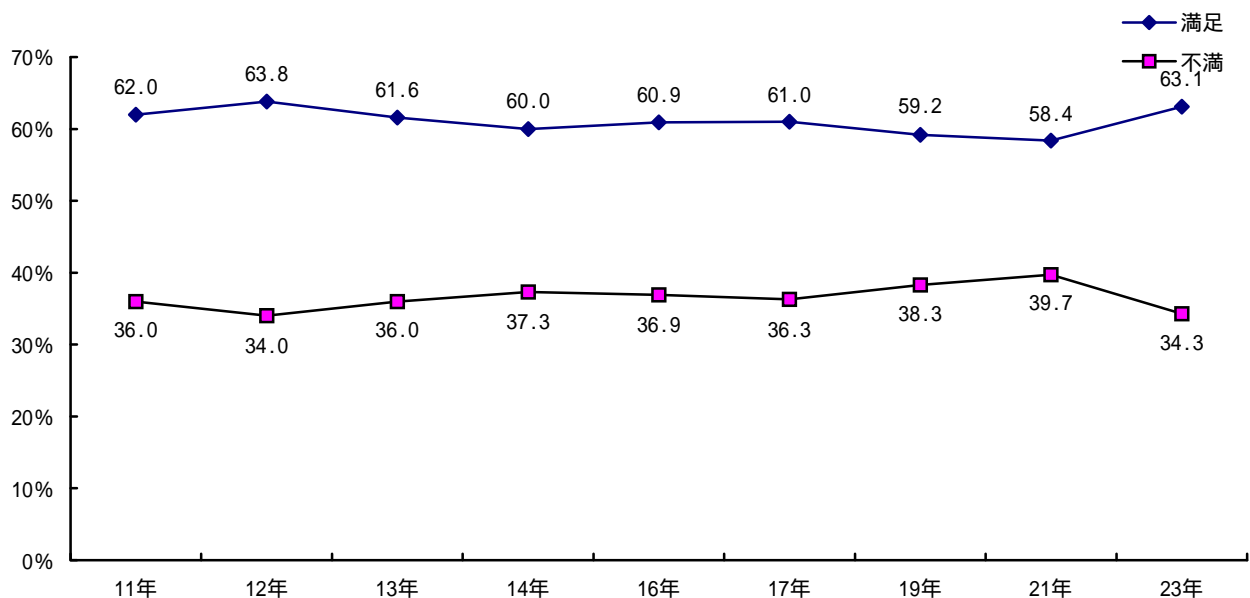
(不満 34.3%)

(満足 63.1%)

### 【経年変化】

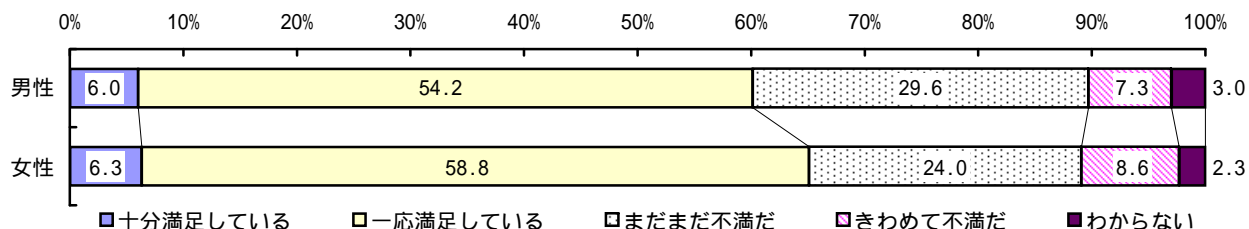
経年変化を見ると、「満足」と答えた人の割合は微減傾向であったが、今回は前回調査より4.7%増加している。

一方、「不満」と答えた人の割合は微増傾向であったが、今回は前回調査より5.4%減少している。



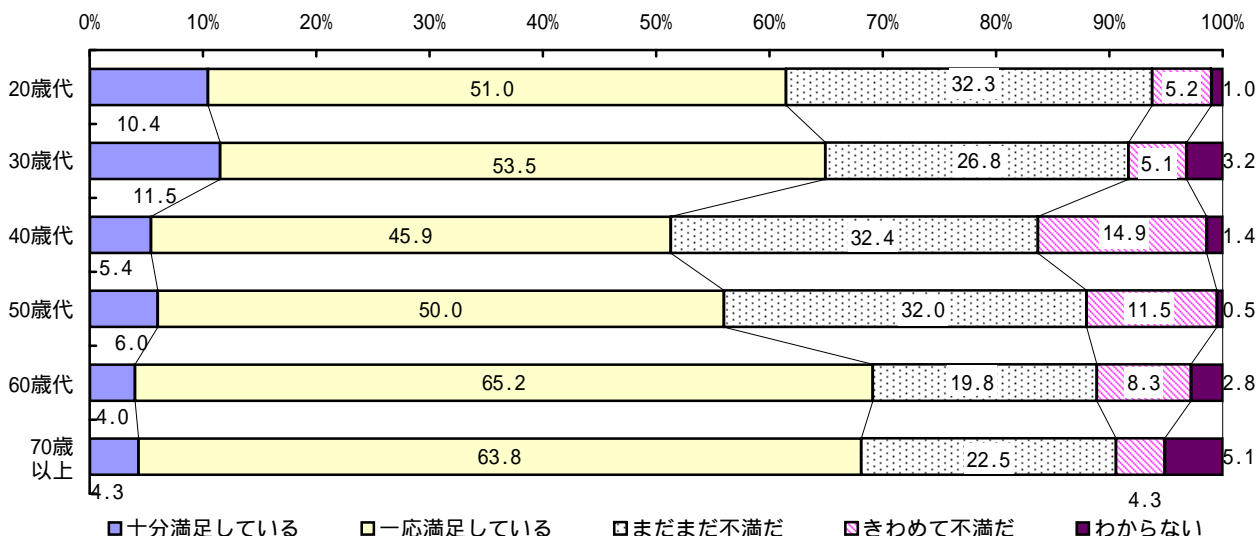
【性別】

性別にみると、「満足」と答えた人の割合は、男性で60.2%、女性で65.1%とどちらも60%を超えているが、女性の方が4.9%多くなっている。（前回調査でも女性の方が5.0%多かった。）  
 一方、「不満」と答えた人の割合は、男性が36.9%、女性が32.6%で、男性の方が4.3%多くなっている。（前回調査でも男性の方が5.0%多かった。）



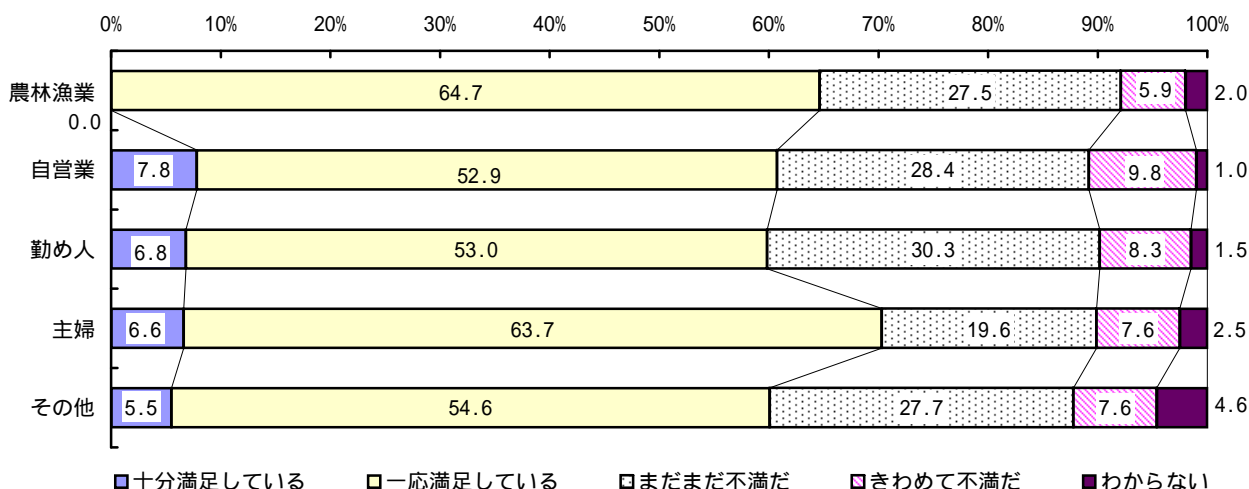
【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「満足」と答えた人の割合が「不満」を上回っており、中でも60歳代（「満足」：69.2%、「不満」：28.1%）及び70歳以上（「満足」：68.1%、「不満」：26.8%）で特に大きく上回っている。  
 一方、「不満」と答えた人の割合は40歳代（47.3%）で最も多く、以下50歳代（43.5%）、20歳代（37.5%）の順となっている。  
 また、前回調査と比較すると、「満足」と答えた人の割合が60歳代で10.3%増加している。



【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「満足」と答えた人の割合が「不満」を上回っており、中でも主婦（「満足」：70.3%、「不満」：27.2%）で特に大きく上回っている。  
 一方、「不満」と答えた人の割合は、勤め人（38.6%）で最も多く、以下自営業（38.2%）、その他（35.3%）の順となっている。  
 また、前回調査と比較すると、全ての職種で「きわめて不満だ」と答えた人の割合が減少し、農林漁業では「一応満足している」と答えた人の割合が13.6%増加し、「きわめて不満だ」と答えた人の割合が11.5%減少している。

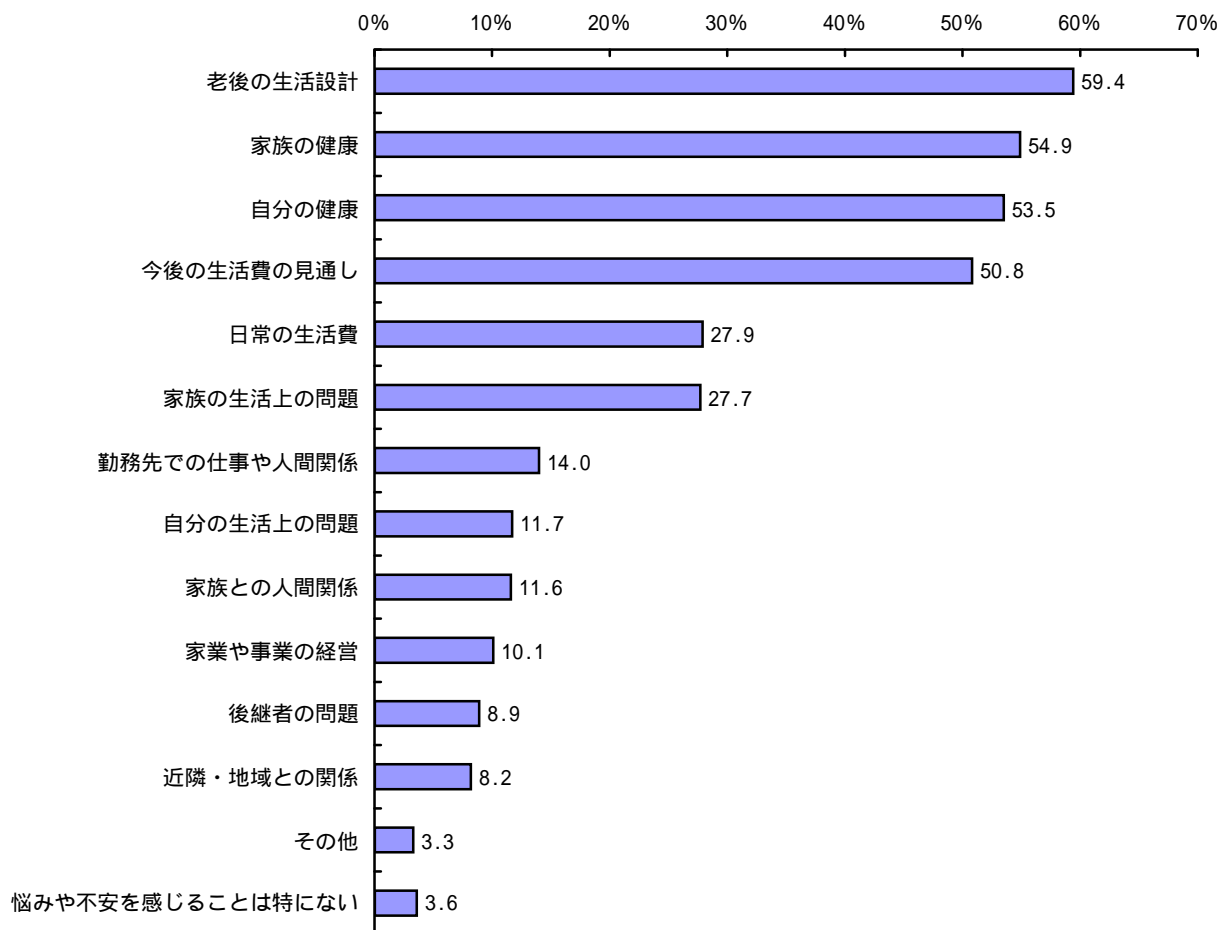


## 問7 日常生活での悩みや不安

あなたが、日常生活の中で悩みや不安を感じていることがあれば、次の中からいくつでも選んで番号を で囲んでください。

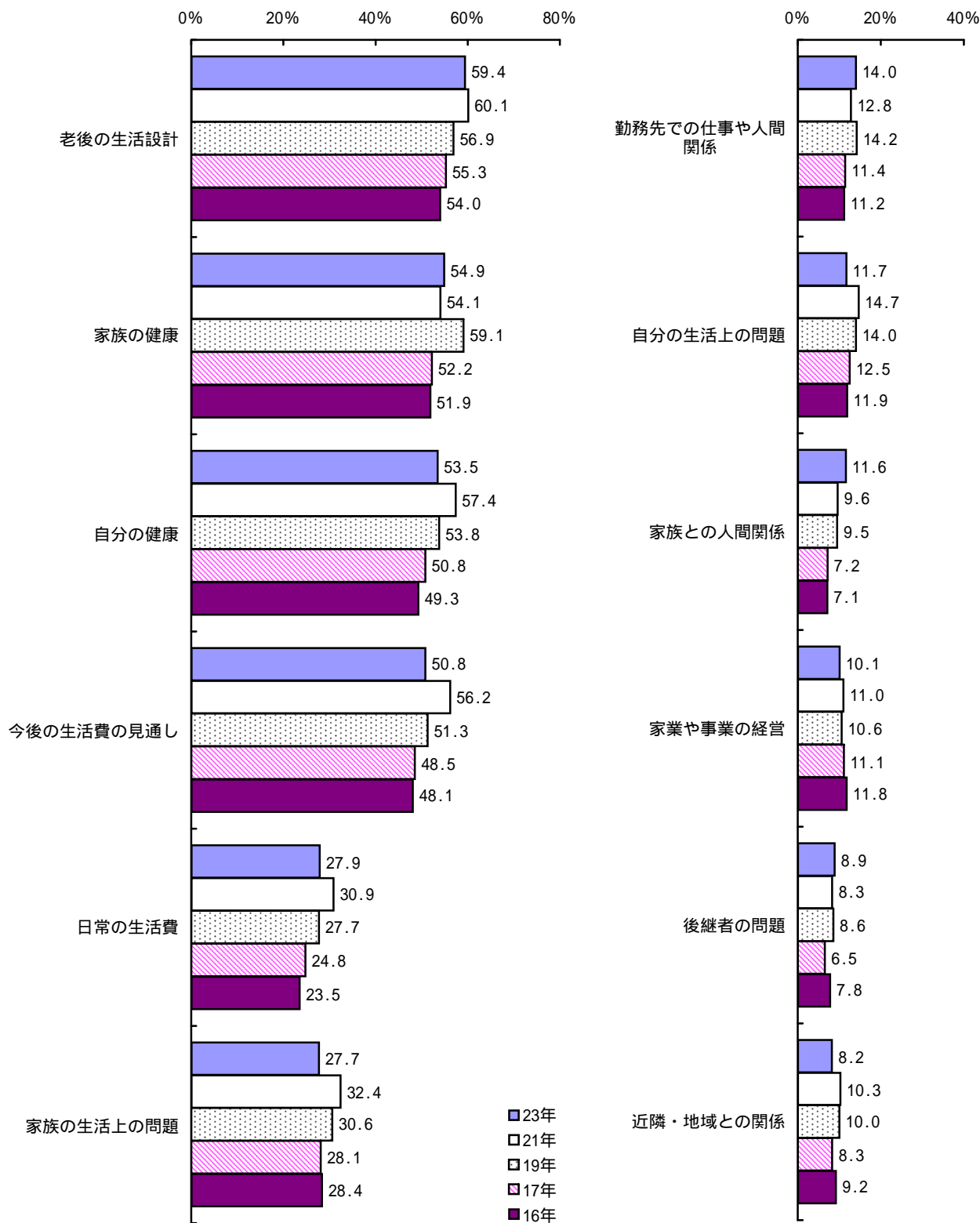
	(複数回答)	(%)
1 自分の健康について		53.5
2 家族の健康について		54.9
3 自分の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について		11.7
4 家族の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について		27.7
5 日常の生活費について		27.9
6 今後の生活費の見通しについて		50.8
7 後継者の問題(家業、農林漁業の将来)について		8.9
8 家業や事業の経営(農林漁業を含む)について		10.1
9 家族との人間関係について		11.6
10 近隣・地域との関係について		8.2
11 勤務先での仕事や人間関係について		14.0
12 老後の生活設計について		59.4
13 その他		3.3
14 悩みや不安を感じることは特にない		3.6

日常生活の中で悩みや不安を感じていることがらを聞いたところ、「老後の生活設計について」と答えた人の割合が59.4%と最も多く、以下「家族の健康について」(54.9%)、「自分の健康について」(53.5%)、「今後の生活費の見通しについて」(50.8%)の順であり、将来の生活や健康に関する悩みや不安を感じている人が多くなっている。



【経年変化】

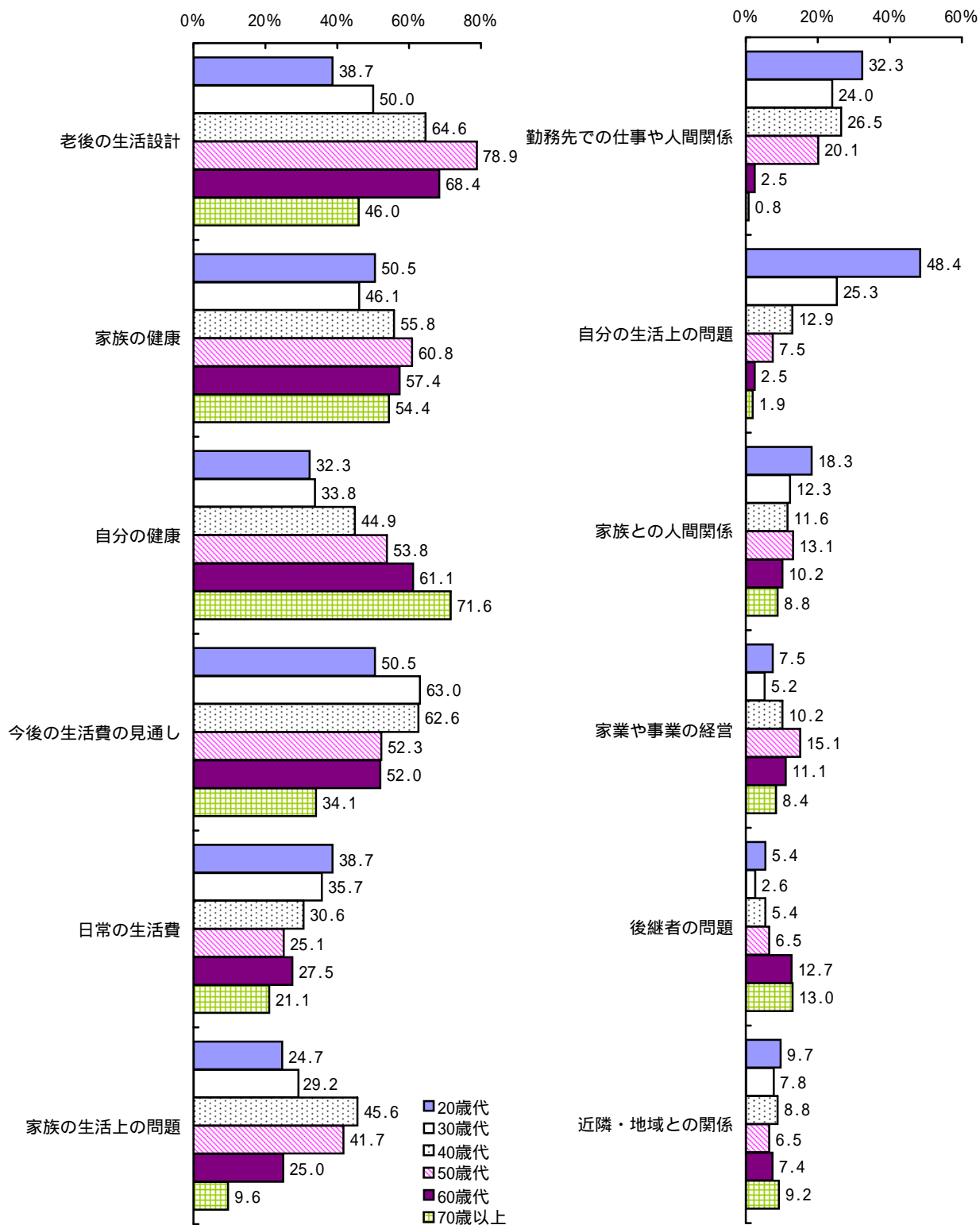
経年変化をみると、悩みや不安の上位の項目は、平成16年調査以降大きな変化は見られないが、家族との人間関係に関する悩みや不安を感じている人が増加傾向にある。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代では「家族の健康」及び「今後の生活費の見通し」が同率で多く、30歳代では「今後の生活費の見通し」、40歳代から60歳代では「老後の生活設計」、70歳以上では「自分の健康」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、20歳代では「自分の生活上の問題」と答えた人の割合が他の年齢層と比較して特に多くなっているほか、「老後の生活設計」は50歳代で他の年齢層と比較して多く、「家族の生活上の問題」は40歳代及び50歳代で多く、「自分の健康」は年齢が高くなるほど多くなっているなど、各年齢層によって悩みや不安を感じている項目に大きな違いが見られる。



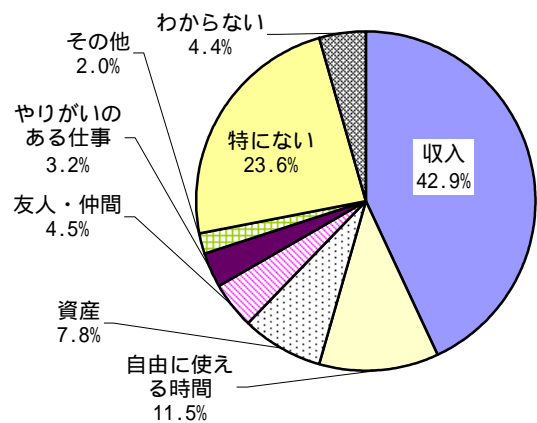
### 問8 普段の生活で不足しているもの

あなたが普段の生活の中で最も不足していると思うものはなんですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

番号	項目	(%)
1	自由に使える時間	11.5
2	収入	42.9
3	資産(土地、家屋、預貯金等)	7.8
4	やりがいのある仕事	3.2
5	友人・仲間	4.5
6	その他	2.0
7	特にない	23.6
8	わからない	4.4

普段の生活の中で最も不足していると思うものを聞いたところ、「収入」と答えた人の割合が42.9%と特に多く、以下「自由に使える時間」(11.5%)、「資産(土地、家屋、預貯金等)」(7.8%)の順となっている。

また、「特にない」と答えた人の割合が23.6%となっている。

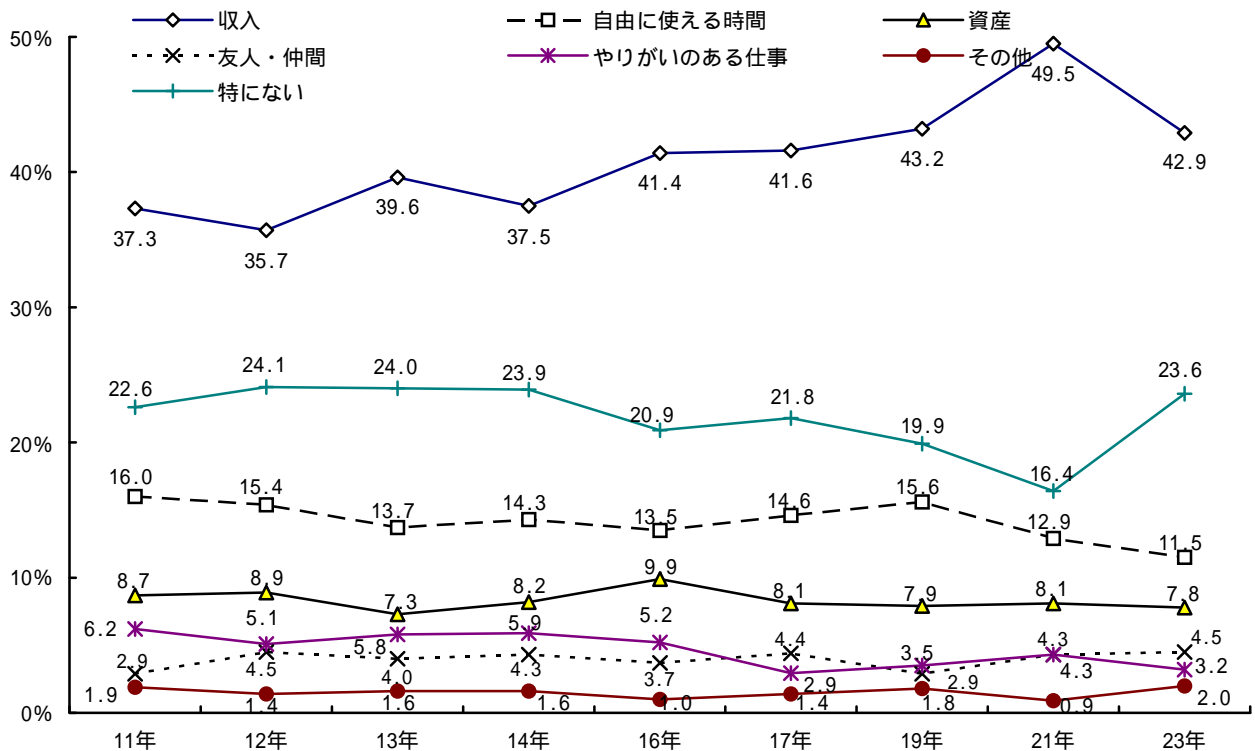


#### 【経年変化】

経年変化を見ると、「収入」と答えた人の割合が平成14年調査以降増加し続けていたが、一転して前回調査と比較すると6.6%減少している。

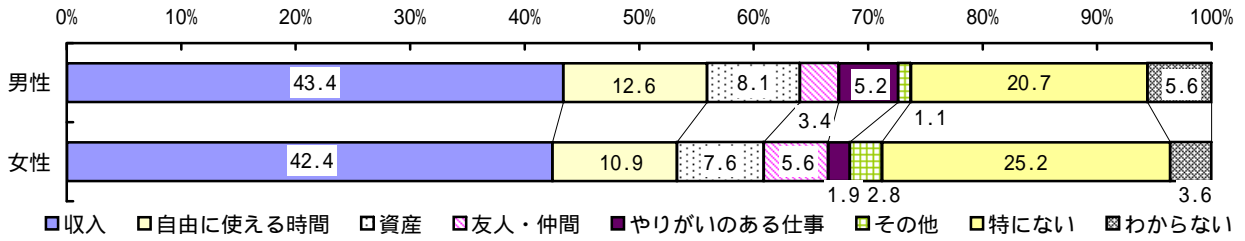
また、「特にない」と答えた人の割合が、前回調査より7.2%増加している。

この他、「自由に使える時間」と答えた人の割合は平成19年調査以降減少傾向にあり、前回調査より1.4%減少し11.5%と、平成11年調査以降では最も少なくなっている。



【性別】

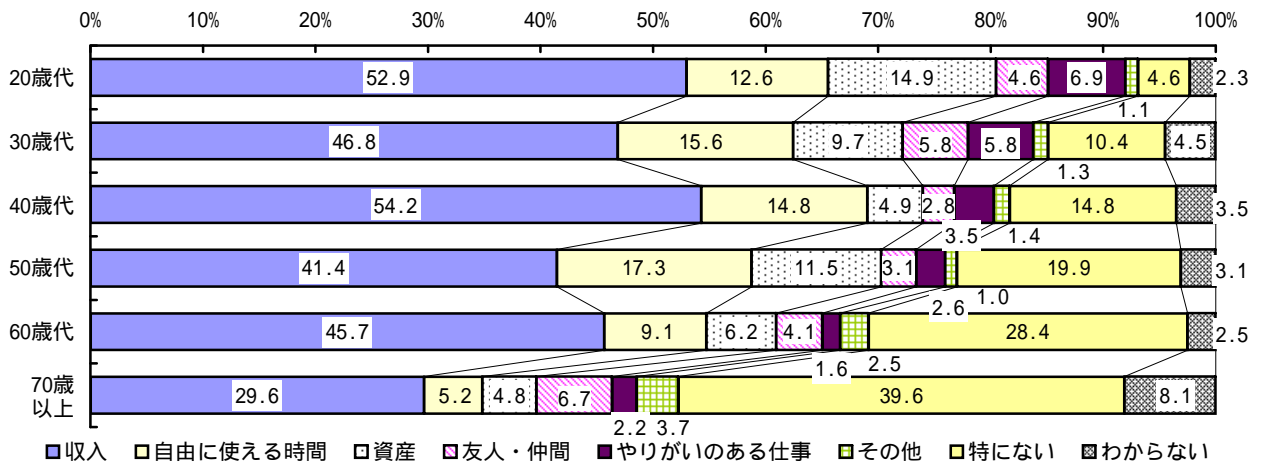
性別にみると、男女共に「収入」と答えた人の割合が最も多く、男女ともほぼ同率であった。また、「特にない」と答えた人の割合は、女性（25.2%）の方が男性（20.7%）より4.5%多くなっており、前回調査よりいずれも増加（男性5.3%増加、女性8.3%増加）している。



【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上を除く全ての年齢層で「収入」と答えた人の割合が最も多いが、50歳代では前回調査より大幅に減少している。（16.8%減少）

また、70歳以上では「特にない」と答えた人の割合が最も多くなっており、他の年齢層と比較しても特に多くなっているほか、「特にない」と答えた人の割合は、特に30歳代から60歳代で前回調査より増加している。（30歳代：1.7%増加、40歳代：6.9%増加、50歳代：11.2%増加、60歳代：7.9%増加）

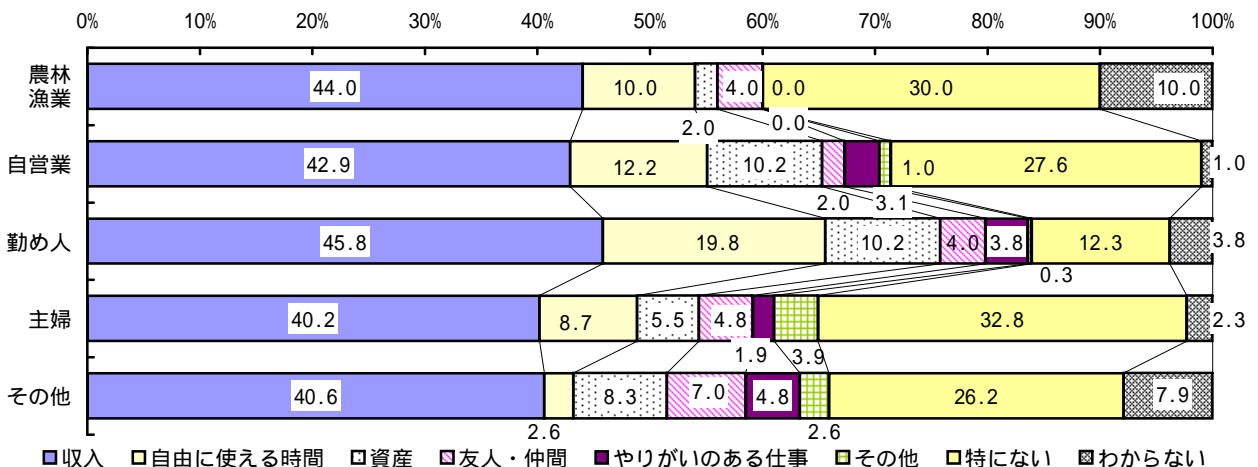


【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「収入」と答えた人の割合が最も多いが、前回調査と比較すると全ての職種で減少している。

また、勤め人においては、「自由に使える時間」と答えた人の割合が、農林漁業及び主婦は「特にない」と答えた人の割合が、それぞれ他の職種と比較して多くなっている。

この他、全ての職種で「特にない」は増加しており、中でも自営業では16.5%増加している。



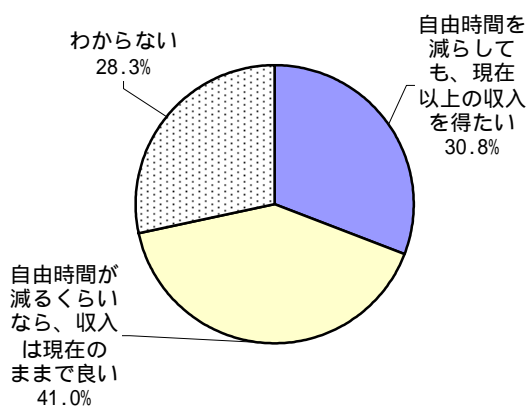


## 問9 自由時間と収入についての考え方

あなたは、自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思いますか。それともそうは思いませんか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んで番号を で囲んでください。

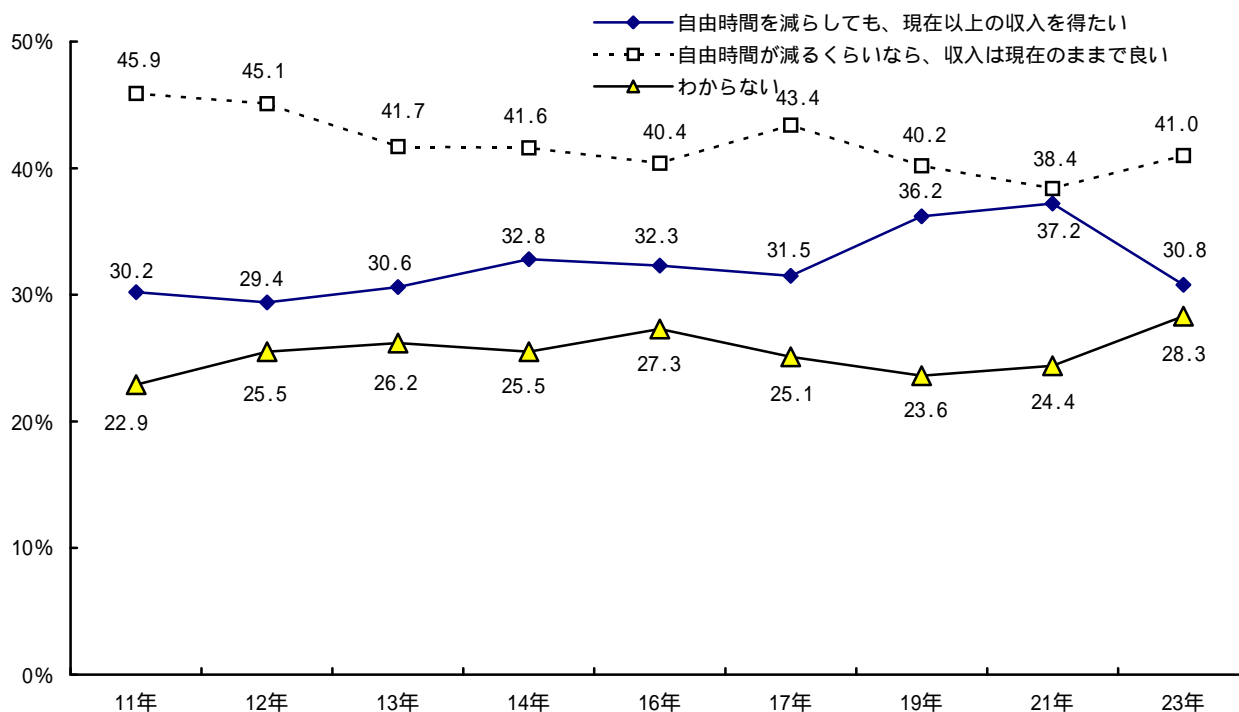
	(%)
1 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい	30.8
2 自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い	41.0
3 わからない	28.3

自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思うか、それともそうは思わないかを聞いたところ、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」（収入派）と答えた人の割合が30.8%、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」（自由時間派）が41.0%で、自由時間を重視する人の割合の方が多くなっている。



### 【経年変化】

経年変化をみると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合と「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合の差は、年々縮まる傾向にあったが、今回は、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合は6.4%減少し、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が2.6%増加し、その差が10.2%に開いた。

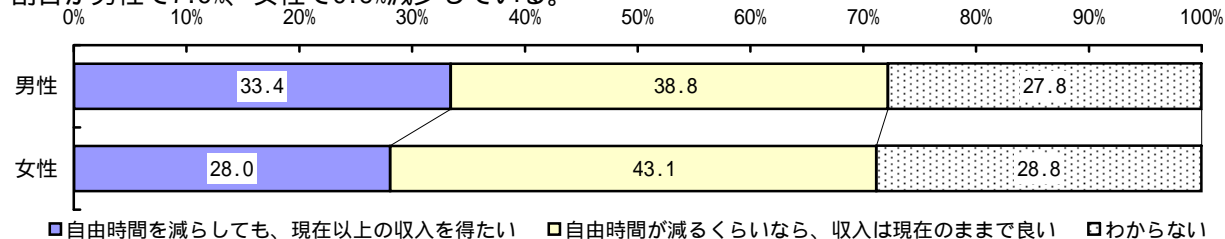




【性別】

性別にみると、男女共に「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が多くなっている。（前回調査では、男性では「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合の方が多かった。）

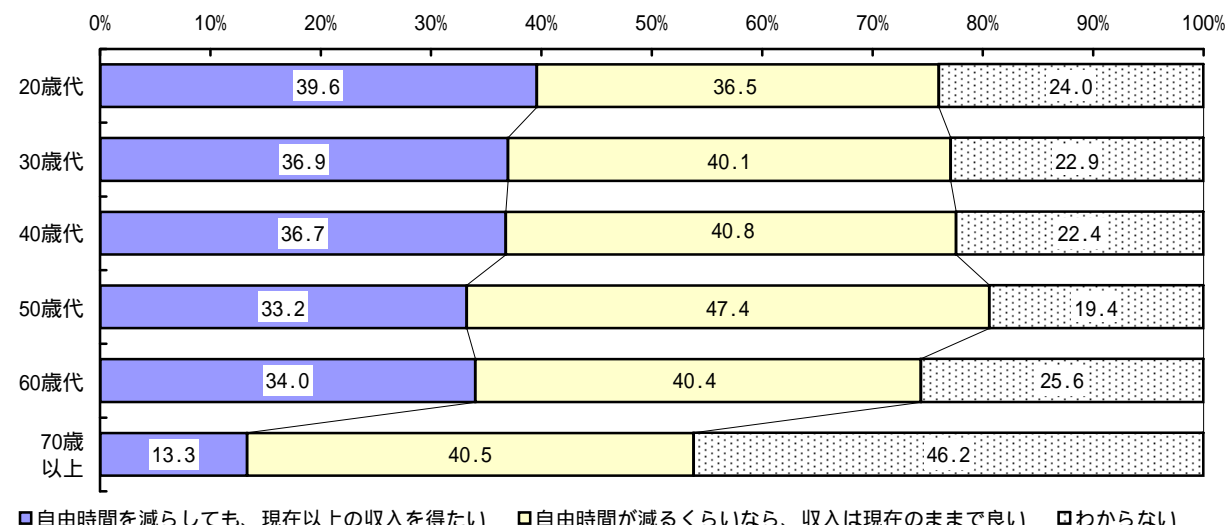
また、前回調査と比較すると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が男性で7.5%、女性で6.8%減少している。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代では「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合の方が多く、30歳代以上では「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が多くなっている。（70歳以上では、「わからない」と答えた人の割合が最も多い）

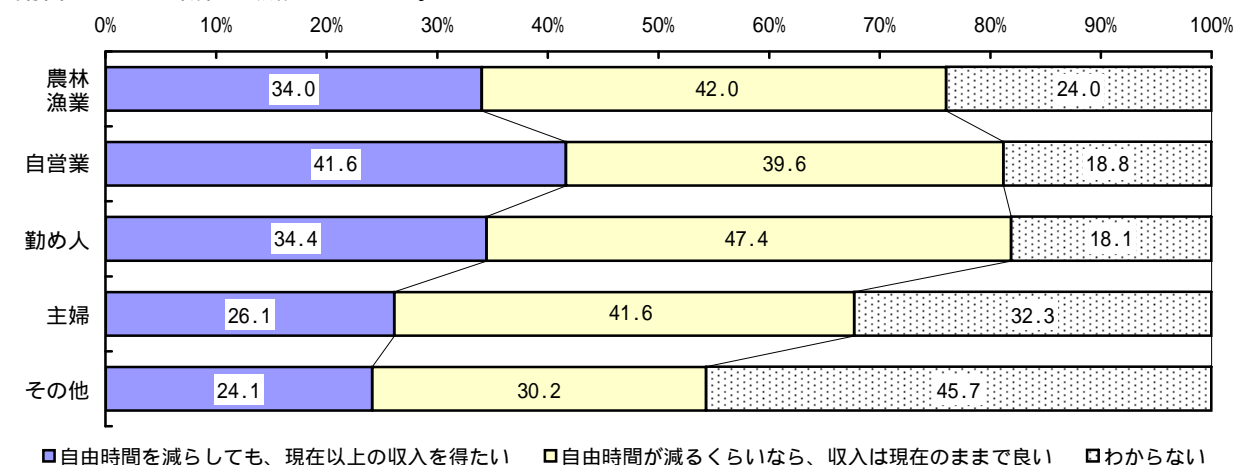
また、前回調査と比較すると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が全年齢層で減少しており、中でも40歳代では前回調査より12.1%減少している。



【職業別】

職業別にみると、自営業では「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合の方が多く、自営業以外の職種では「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が多くなっている。（その他の職種では「わからない」と答えた人の割合が最も多い）

また、前回調査と比較すると、「自由時間が減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が全ての職種で減少している。

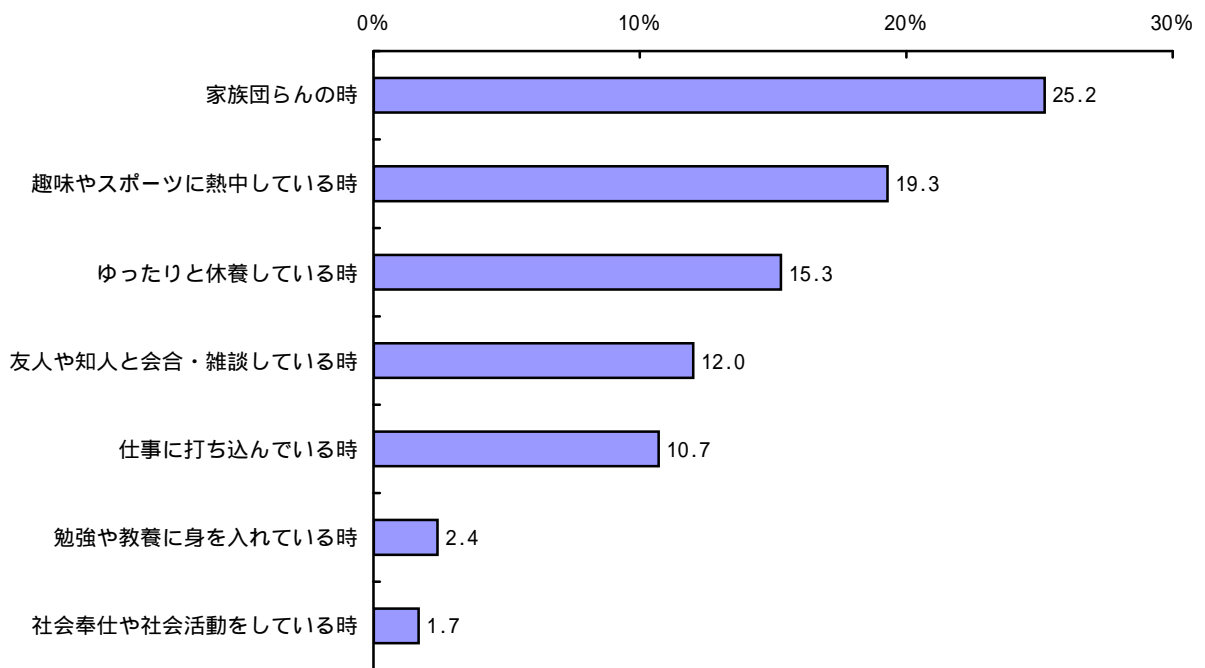


## 問10 日常生活で充実感を感じる時

あなたは、日ごろの生活で充実感を感じるのは主にどのような時ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 仕事に打ち込んでいる時	10.7
2 勉強や教養に身を入れている時	2.4
3 趣味やスポーツに熱中している時	19.3
4 ゆったりと休養している時	15.3
5 家族団らんの時	25.2
6 友人や知人と会合・雑談している時	12.0
7 社会奉仕や社会活動をしている時	1.7
8 その他	1.4
9 特になし	9.6
10 わからない	2.4

日頃の生活で充実感を感じるのはどのような時かを聞いたところ、「家族団らんの時」と答えた人の割合が25.2%と最も多く、以下「趣味やスポーツに熱中している時」(19.3%)、「ゆったりと休養している時」(15.3%)、「友人や知人と会合・雑談している時」(12.0%)、「仕事に打ち込んでいる時」(10.7%)の順となっている。

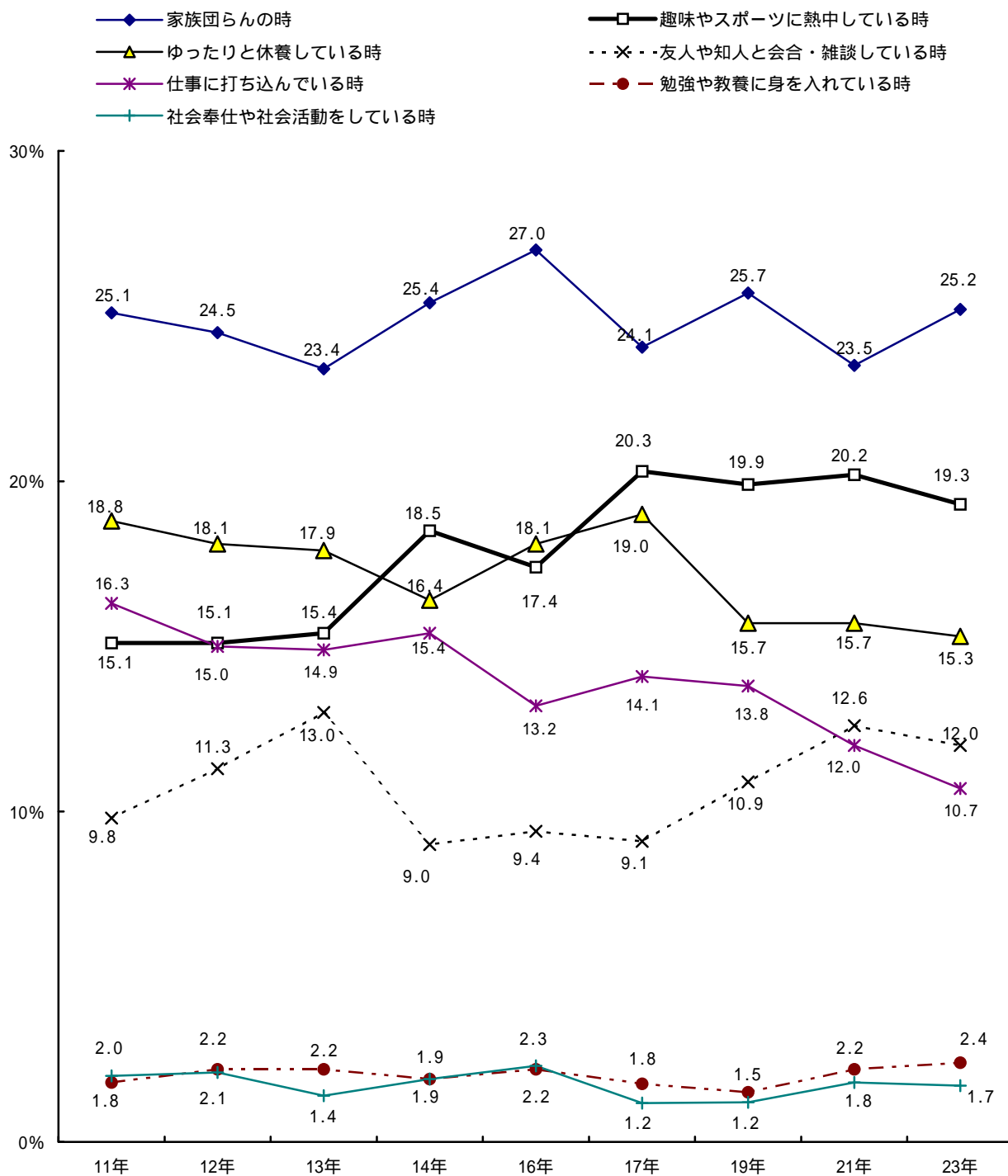


【経年変化】

経年変化をみると、平成11年調査以降では「家族団らんの時」と答えた人の割合が25%前後で最も多くなっており、今回も25.2%であった。

また、「趣味やスポーツに熱中している時」は平成17年調査までは増加傾向にあったが平成17年調査以降は20%程度で大きな変化がない。

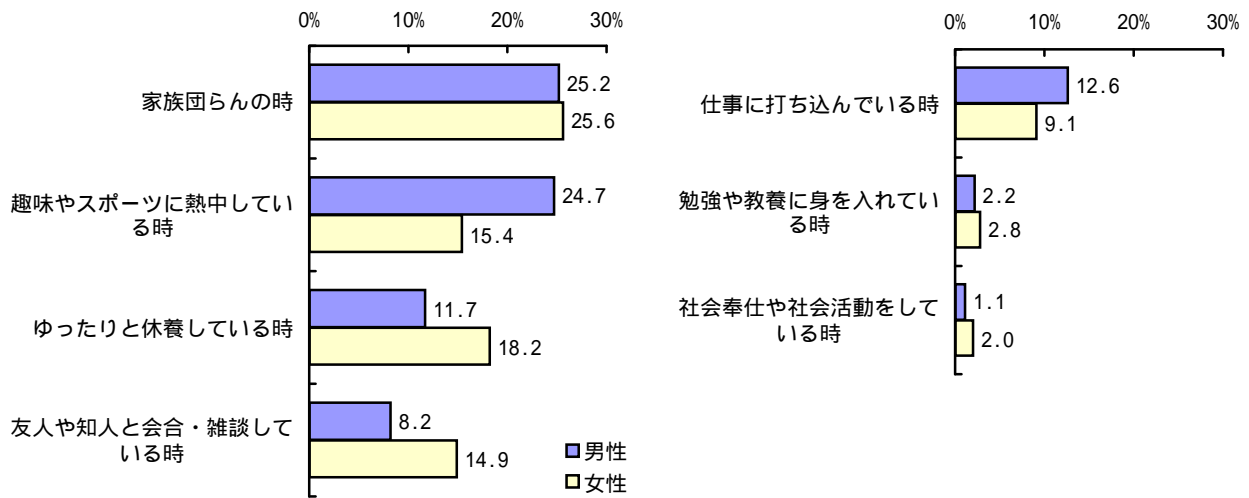
この他、平成17年調査以降減少している「仕事に打ち込んでいる時」と答えた人の割合が前回調査よりさらに1.3%減少している。



【性別】

性別にみると、男女共に「家族団らんの時」と答えた人の割合が最も多く、ほぼ同率であった。男性では、「趣味やスポーツに熱中している時」と答えた人の割合が、女性よりも9.3%多く、女性では、「ゆったりと休養している時」及び「友人や知人と会合・雑談している時」と答えた人の割合が、男性よりも大幅に多い。

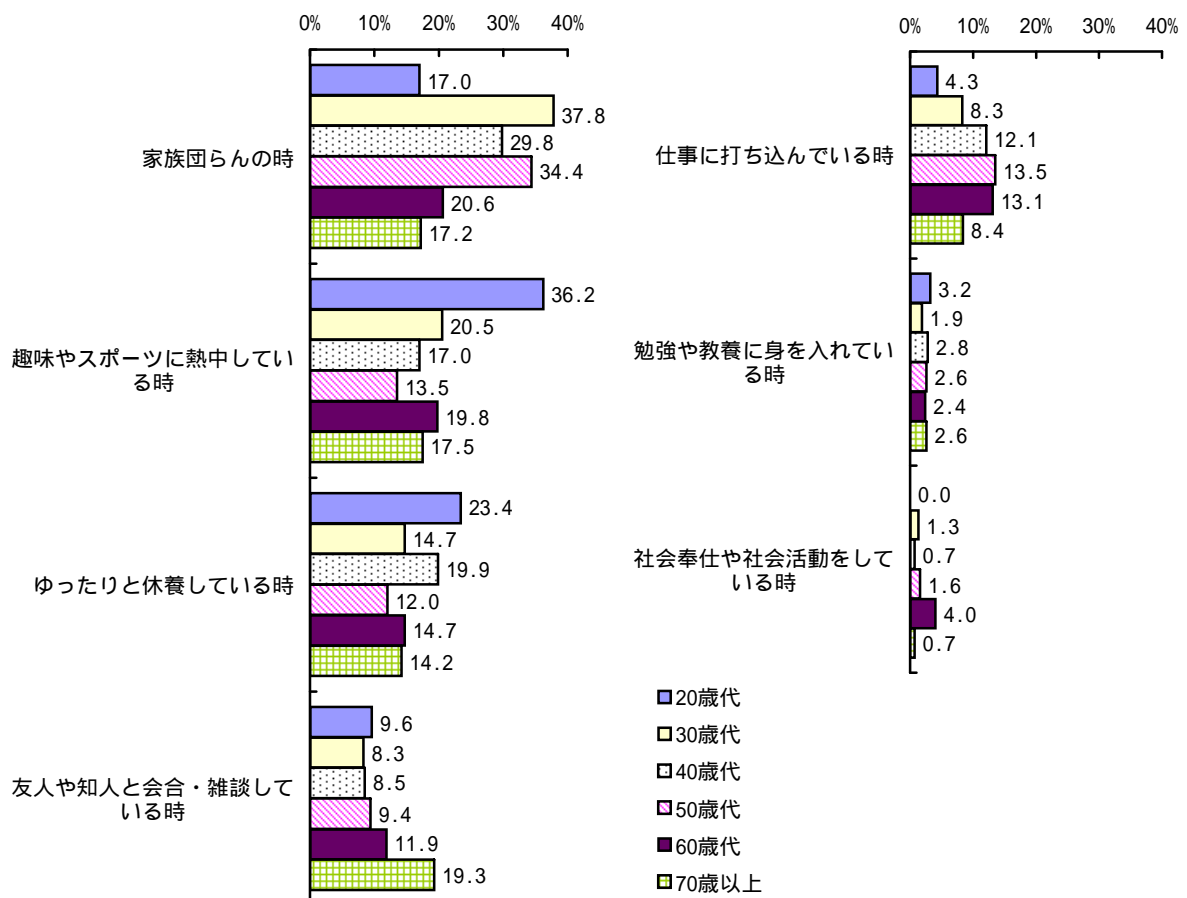
また、前回調査と比較すると、全体的に男女共に同じ傾向であるが、男性において、「家族団らんの時」が4.7%増加と比較的大きく変化している。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代から60歳代では「家族団らんの時」と答えた人の割合が最も多くなっている。20歳代では「趣味やスポーツに熱中している時」が最も多く、他の年齢層と比較して特にならている。70歳以上では「友人や知人と会合・雑談している時」が最も多くなっている。

また、前回調査と比較すると、20歳代で「ゆったりと休養している時」と答えた人の割合が、12.8%増加しているが、「友人や知人と会合・雑談している時」と答えた人の割合は9.1%減少している。

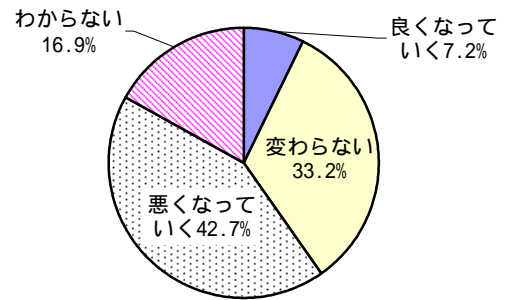


### 問11 暮らしの先行き観

お宅の暮らしは、これから先、良くなっていくと思いますか。それとも悪くなっていくと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 良くなっていく	7.2
2 変わらない	33.2
3 悪くなっていく	42.7
4 わからない	16.9

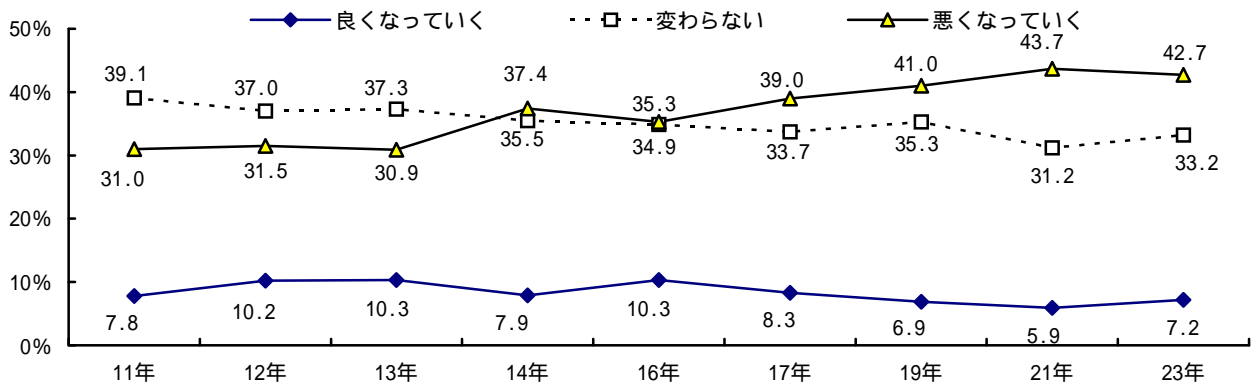
暮らしがこれから先、良くなっていくと思うか、それとも悪くなっていくと思うかを聞いたところ、「悪くなっていく」と答えた人の割合が42.7%と最も多く、「変わらない」が33.2%、「良くなっていく」が7.2%となっている。



#### 【経年変化】

経年変化をみると、「悪くなっていく」と答えた人の割合は、平成16年調査以降増加を続けていたが、今回は、若干減少している。（前回調査と比較して1.0%減少）

また、「良くなっていく」と答えた人の割合は、平成16年調査以降減少傾向であったが、今回は、若干増加している。（前回調査と比較して1.3%増加）

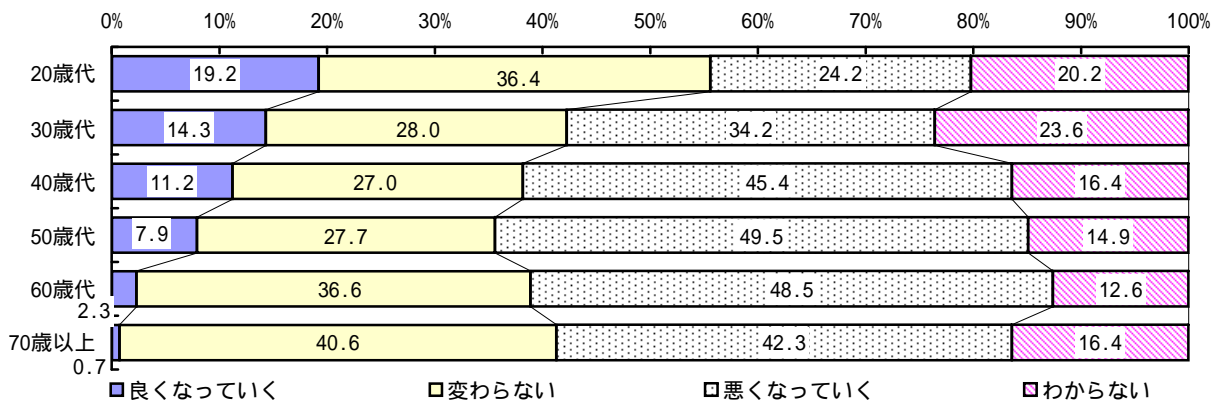


#### 【年齢別】

年齢別にみると、30歳代以上では「悪くなっていく」と答えた人の割合が最も多く、中でも50歳代（49.5%）、60歳代（48.5%）で他の年齢層と比較して多くなっている。20歳代では「変わらない」が最も多くなっている。（前回調査より7.1%増加）

また、「良くなっていく」と答えた人の割合は、概ね年齢層が高いほど少なくなっており、前回調査と比較すると20歳代から50歳代で増加している。（前回調査より20歳代4.6%増加、30歳代6.6%増加、40歳代2.9%増加、50歳代2.2%増加）

一方、「悪くなっていく」と答えた人の割合は、前回調査と比較すると、40歳代で5.9%増加、70歳以上で5.7%増加しているが、50歳代では9.6%減少している。

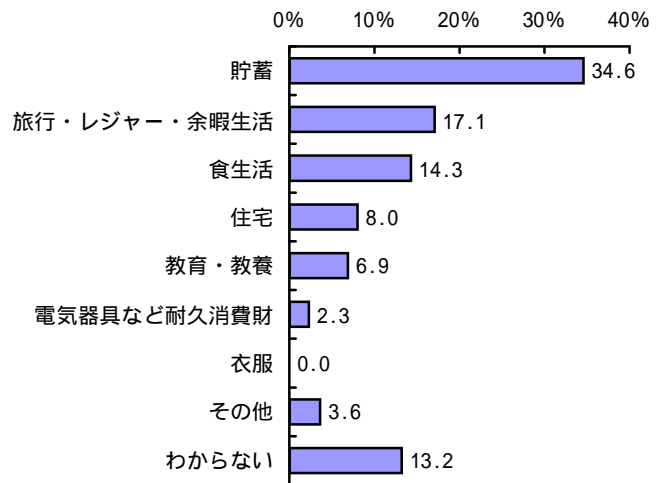


## 問12 改善したい暮らし向き

今後、お宅の暮らしでどのような面に力を入れたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 食生活	14.3
2 衣服	0.0
3 電気器具、家具、自動車など耐久消費財	2.3
4 住宅	8.0
5 貯蓄	34.6
6 教育・教養	6.9
7 旅行・レジャー・余暇生活	17.1
8 その他	3.6
9 わからない	13.2

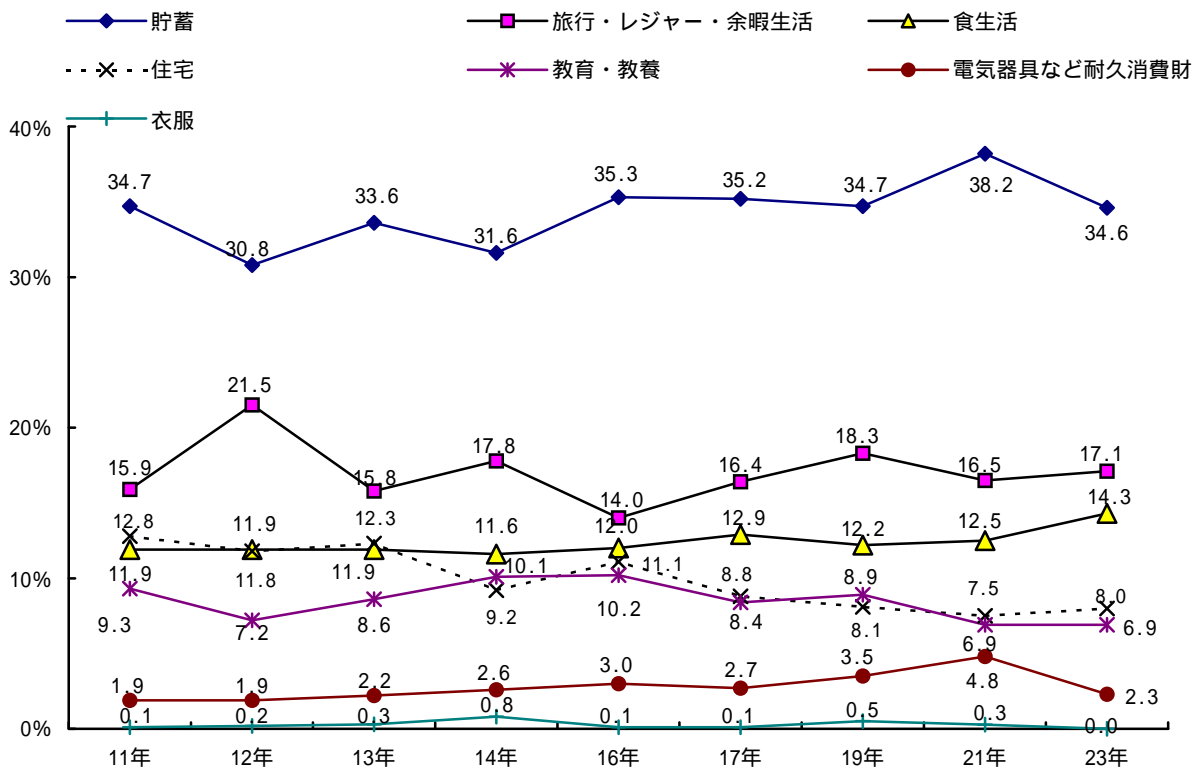
今後の暮らしでどのような面に力を入れたいかを聞いたところ、「貯蓄」と答えた人の割合が34.6%と特に多く、以下「旅行・レジャー・余暇生活」(17.1%)、「食生活」(14.3%)、「住宅」(8.0%)、「教育・教養」(6.9%)の順となっている。



### 【経年変化】

経年変化をみると、平成11年調査以降では、「貯蓄」と答えた人の割合が毎回第1位となっており、今回も前回調査より3.6%減少しているが、最も多くなっている。

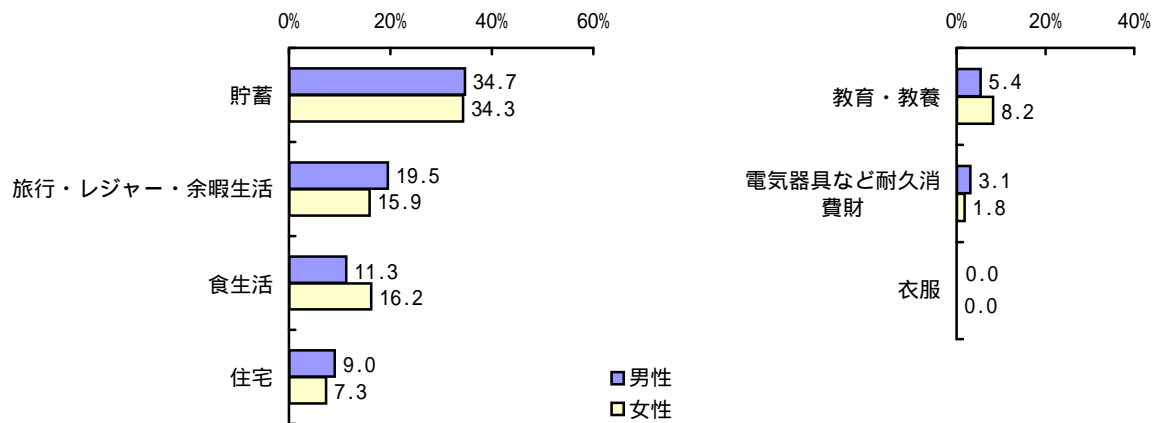
また、「食生活」と答えた人の割合は、前回調査より1.8%増加し14.3%となり、平成11年調査以降では最も多くなっている。



【性別】

性別にみると、男女共に「貯蓄」と答えた人の割合が最も多く、男性も女性もほぼ同率であるが、前回調査と比較すると、女性が6.3%減少している。

また、「旅行・レジャー・余暇生活」と答えた人の割合は、男性（19.5%）の方が女性（15.9%）より3.6%多くなっている。

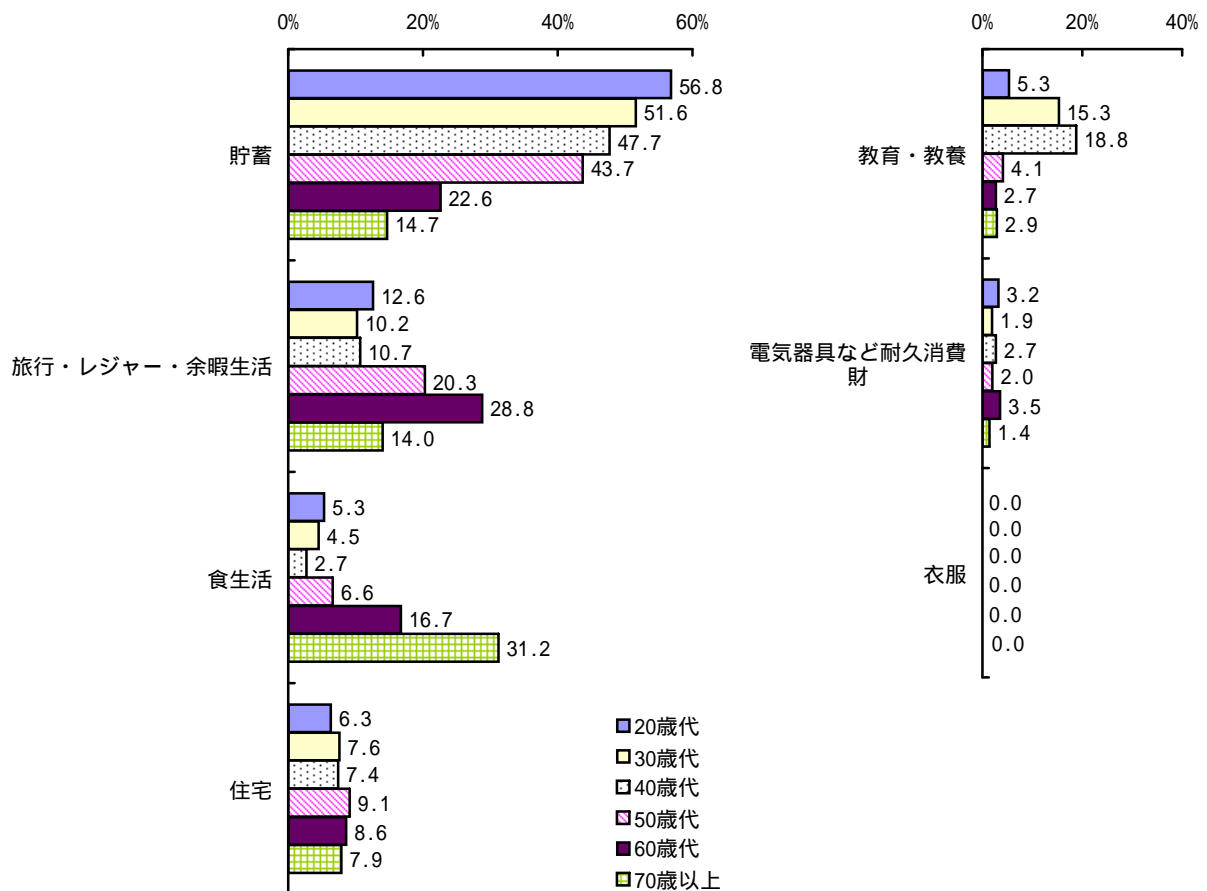


【年齢別】

年齢別にみると、20歳代から50歳代では「貯蓄」と答えた人の割合が最も多く、中でも20歳代（56.8%）は他の年齢層と比較しても特に多くなっている。60歳代では「旅行・レジャー・余暇生活」が、70歳以上では「食生活」が最も多くなっている。

また、「食生活」と答えた人の割合は70歳以上で、「教育・教養」は30歳代及び40歳代で、他の年齢層と比較して特に多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、「旅行・レジャー・余暇生活」と答えた人の割合が20歳代で5.3%増加、40歳代で4.8%増加している。





問13 今後の暮らしに対する考え方

今後の暮らしについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい	24.6
2 まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい	19.7
3 一概にはいえない	42.4
4 わからない	13.4

具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

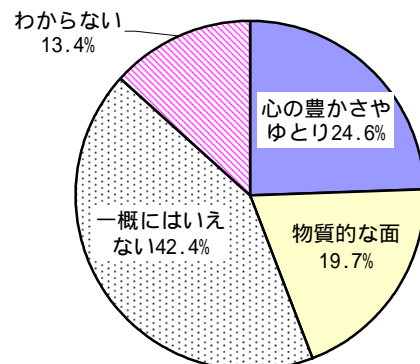
	(回答者 = 210人) (%)
1 精神修養・自己研さんに努める	5.7
2 趣味や習い事に生きがいを見つける	10.0
3 健康を大切にする	42.9
4 家族・友人とのふれあいを大切にする	30.5
5 社会奉仕など社会のためにつくす	4.3
6 自然とのふれあいを大切にする	5.2
7 その他	1.0
8 わからない	0.5

具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(回答者 = 188人) (%)
1 おいしいものをたびたび食べる	4.8
2 耐久消費財(立派な家具、最新の自動車・電気器具など)のそろった快適な暮らし	19.1
3 広くて設備の整った家に住む	32.4
4 趣味・娯楽に関する良いものを購入する	21.8
5 衣服や身の回りのおしゃれができる	8.5
6 その他	6.9
7 わからない	6.4

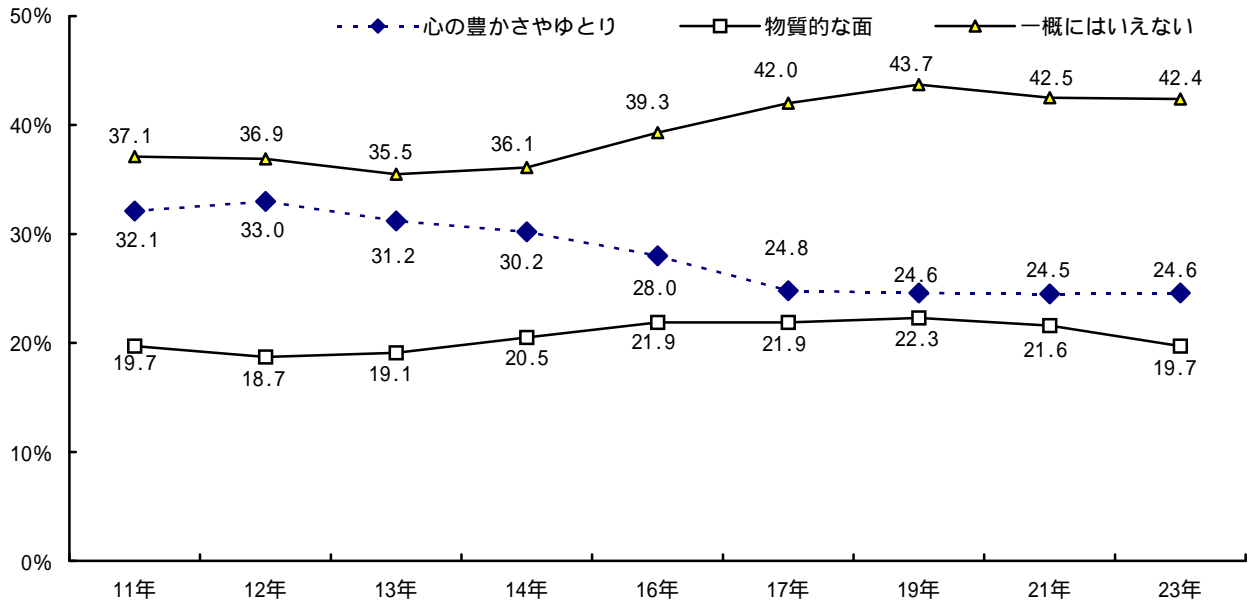
今後の暮らしについて、心の豊かさか物の豊かさかどちらに重点をおきたいと思うかを聞いたところ、「物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活することに重きをおきたい」(ゆとり派/以下「心の豊かさやゆとり」という。)と答えた人の割合が24.6%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」(物質派/以下「物質的な面」という。)の19.7%を上回っている。

また、「一概にはいえない」と答えた人の割合は42.4%であった。



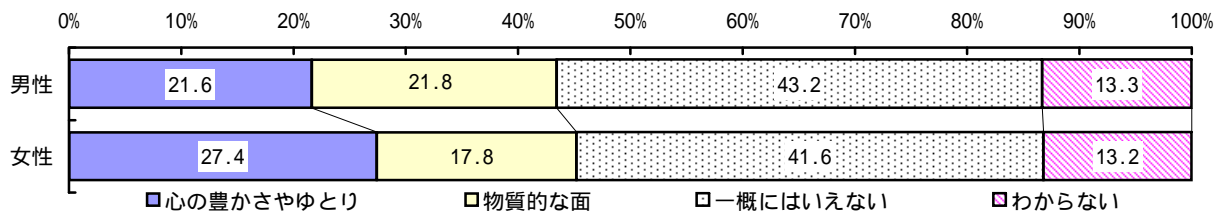
【経年変化】

経年変化をみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は減少傾向にあったが、平成17年調査以降は25%程度で大きな変化が見られない。一方、「物質的な面」と答えた人の割合は、平成16年調査以降は22%前後で推移していたが、今回は若干減少し19.7%であった。また、「一概にはいえない」と答えた人の割合は、今回は前回調査とほぼ同じであった。



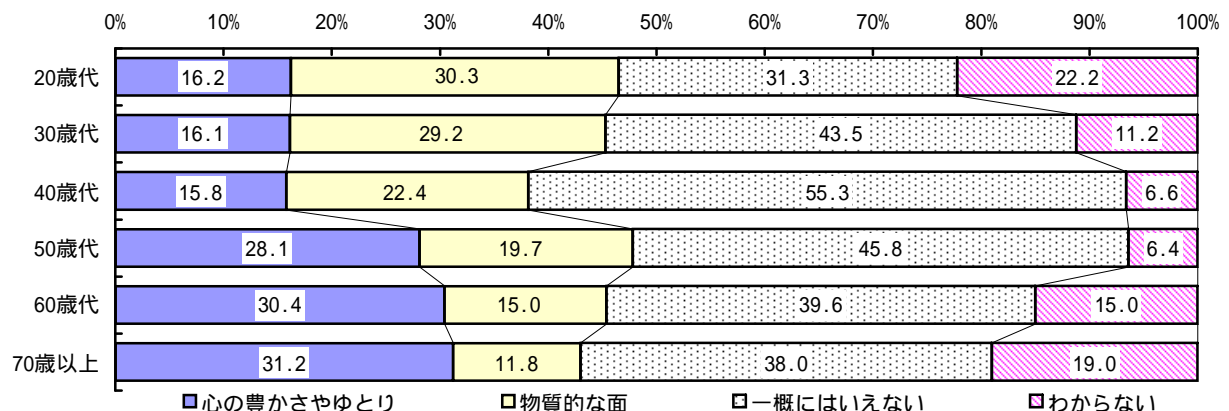
【性別】

性別にみると、「物質的な面」と答えた人の割合は、男性（21.8%：前回調査より2.4%減少）の方が女性（17.8%：前回調査より1.8%減少）より4.0%多くっており、一方で「心の豊かさやゆとり」は女性（27.4%：前回調査より0.8%増加）の方が男性（21.6%：前回調査と同じ）より5.8%多くになっている。



【年齢別】

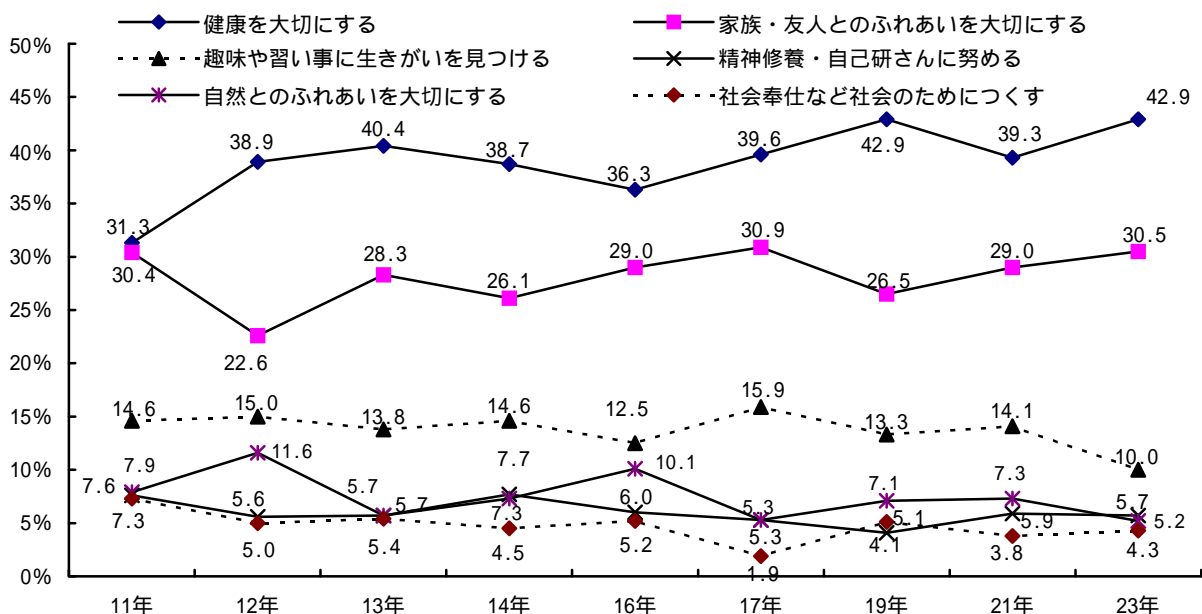
年齢別にみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は、概ね年齢層が高いほど多くなっており、70歳以上（31.2%）で最も多くなっている。一方、「物質的な面」と答えた人の割合は、概ね年齢層が低いほど多くなっており、20歳代（30.3%）で最も多くなっている。また、「一概には言えない」と答えた人の割合は、30歳代から50歳代で他の年齢層と比較して多くなっているが、同項目を前回調査と比較すると、30歳代（8.2%減少）、40歳代（7.5%増加）で大きく変化している。



### 《「心の豊かさやゆとり」の具体的内容》

「心の豊かさやゆとり」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「健康を大切にする」と答えた人の割合が42.9%と最も多く、以下「家族・友人とのふれあいを大切にする」(30.5%)、「趣味や習い事に生きがいを見つける」(10.0%)の順となっている。

また、経年変化を見ると、「健康を大切にする」と答えた人の割合は、3.6%増加しているが、「趣味や習い事に生きがいを見つける」と答えた人の割合は、前回調査より4.1%減少している。



### 《「物質的な面」の具体的内容》

「物質的な面」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合が32.4%と最も多く、以下「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」(21.8%)「耐久消費財(立派な家具、最新の自動車・電気器具など)のそろった快適な暮らし」(19.1%)の順となっている。

また、経年変化を見ると、「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合は、19年調査までは減少傾向にあったが、それ以降増加に転じ、今回も4.4%増加し第1位となっている。一方、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」と答えた人の割合は、前回調査から6.8%増加し、平成11年調査以降では最も多くなっている。

この他、「耐久消費財(立派な家具、最新の自動車・電気器具など)のそろった快適な暮らし」と答えた人の割合は、前回調査より7.8%減少している。

